

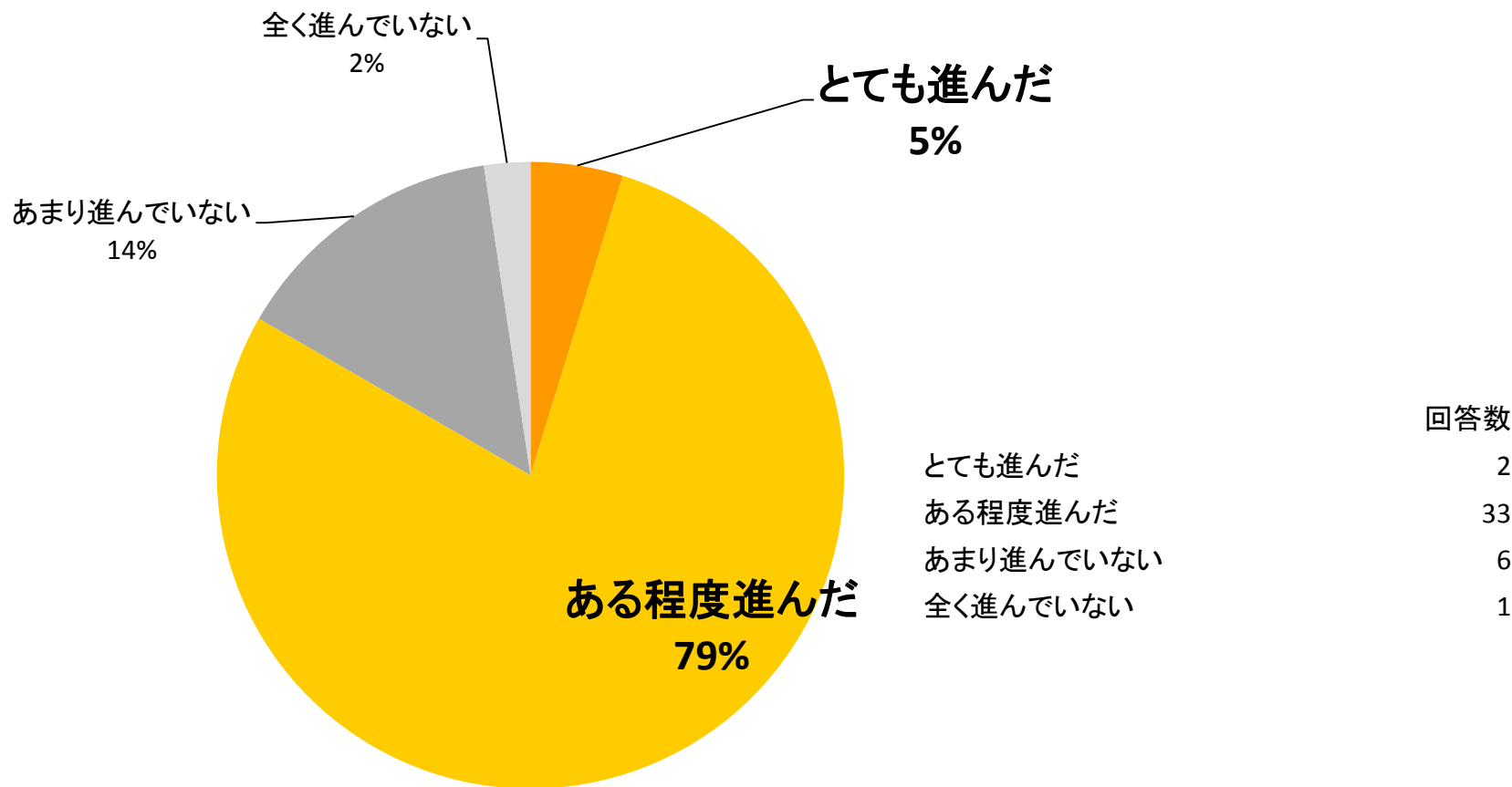
構成団体取組状況調査報告 (概要)

多言語対応協議会事務局
平成30年1月30日(火曜日)

● 調査目的

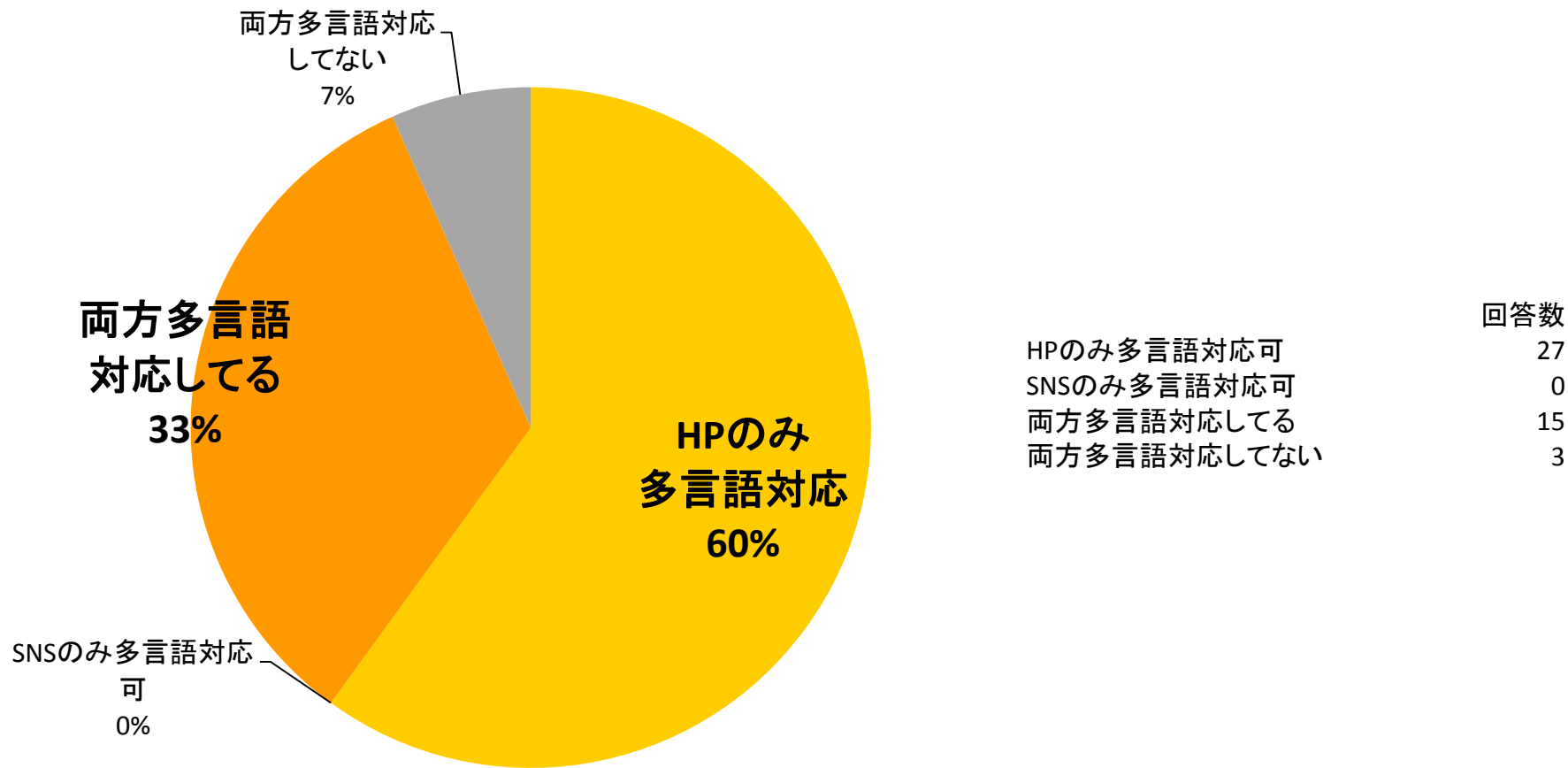
協議会の立上げ（平成26年）から3年が経過。
現時点での協議会構成団体の取組状況を確認し、共有する。

協議会の立上げからこの3年間の多言語対応の進捗状況について教えてください。



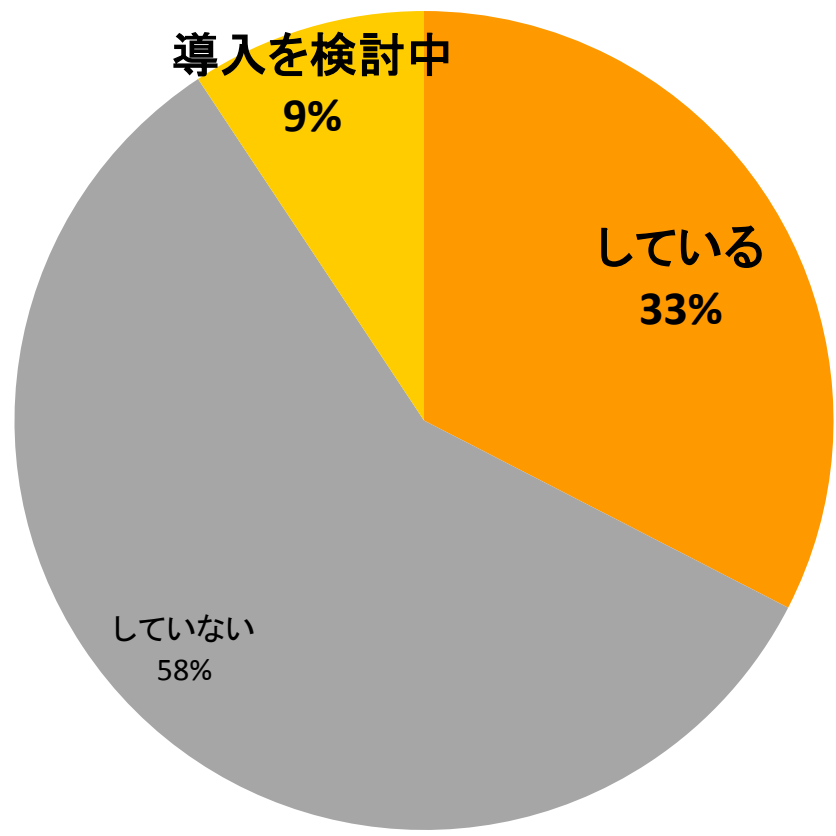
○ 「とても進んだ」、「ある程度進んだ」合わせて **84%**
⇒ **3年間で多言語対応が一定程度、進展してきている。**

HPやSNSの多言語対応の状況について教えてください。



○HPのみ多言語対応している団体が**60%**である。
33%の団体がHP・SNSともに多言語対応している。

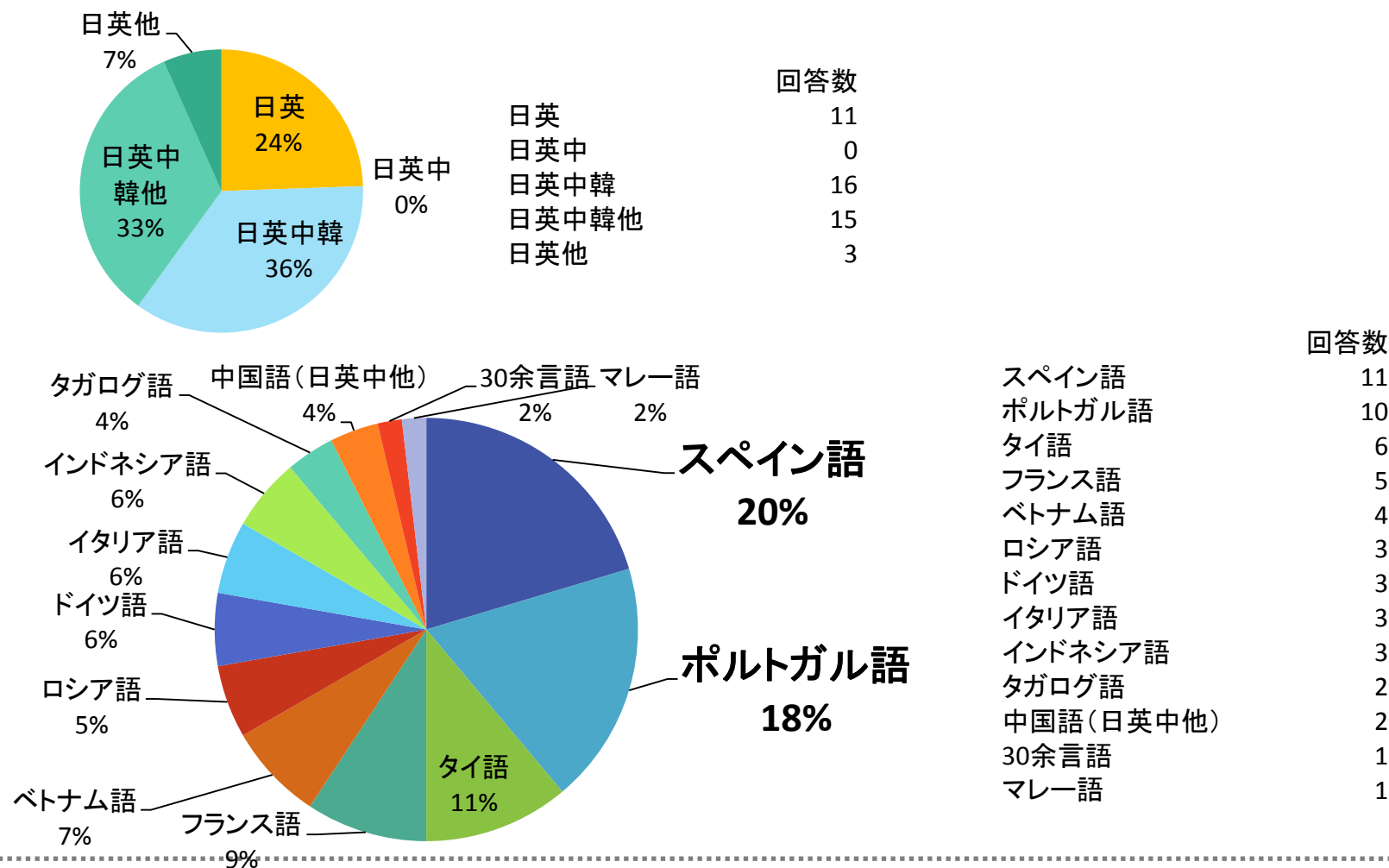
多言語通訳コールセンターなどの専門機関を利用、導入していますか。



	回答数
している	14
していない	25
導入を検討中	4

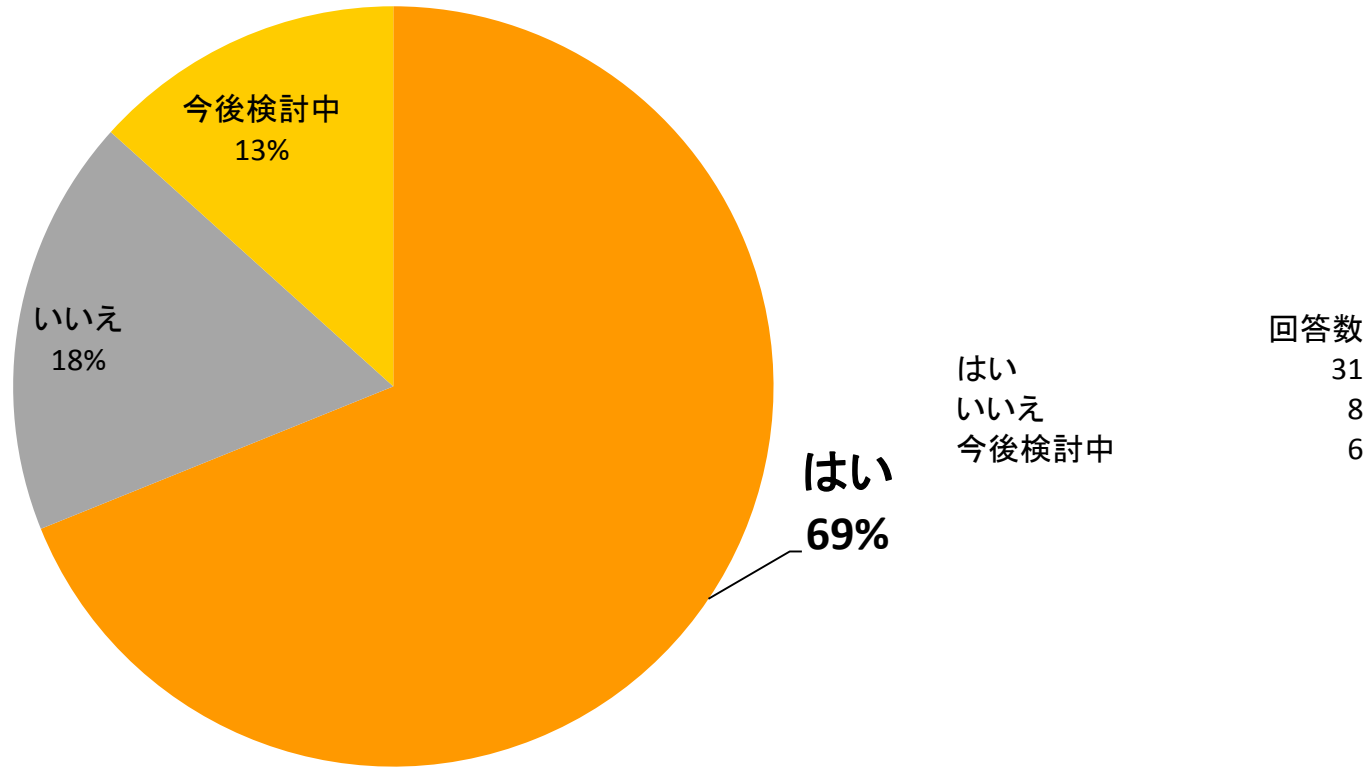
○ 33%の団体がコールセンターなどの専門機関を利用しており、9%が導入を検討している。

協議会の基本的な考え方では、日本語 + 英語による対応を基本としつつ、必要に応じて中国語・韓国語、更にはその他の言語による多言語対応を行うこととしていますが、貴団体で対応している言語は次のうちどれですか。



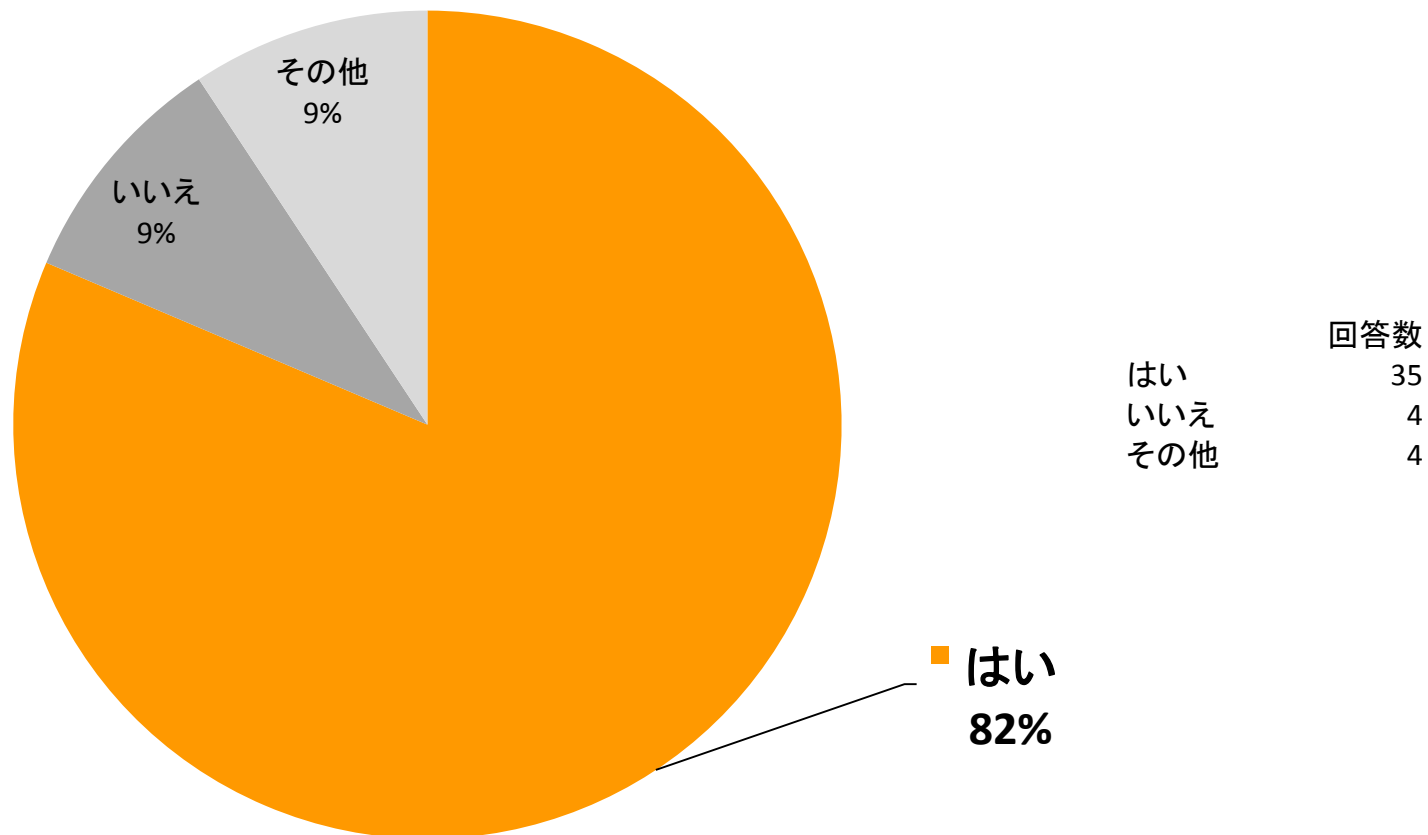
○英中韓以外では、**スペイン語、ポルトガル語**に対応している団体が多い。

多言語対応を推進する上で、ネイティブチェックなどの外国人による監修を受けていますか。



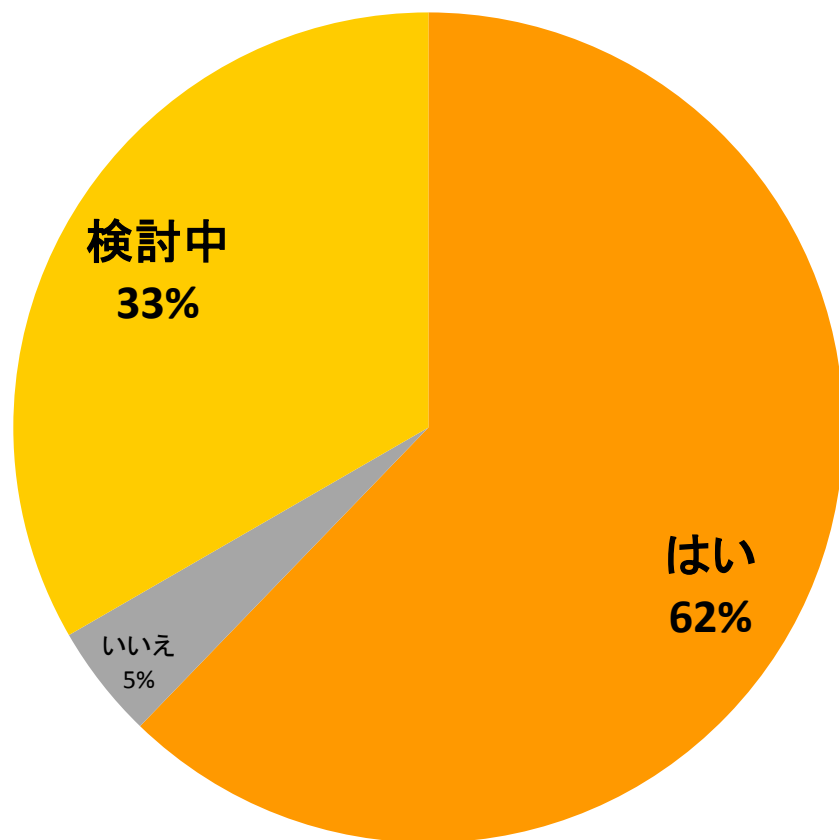
○ 69%が外国人によるネイティブチェックを受けている。

2020年に向けて多言語対応の準備は着実に進んでいますか。



○着実に進めている団体が82%である。

2020年のオリンピック終了後も多言語対応を推進していく予定はありますか。



	回答数
はい	28
いいえ	2
検討中	15

○ 62%が2020大会終了後も多言語対応を推進していく予定があり
33%が検討中である。